

伊賀市 事務事業評価シート

施設の管理・運営

事業名	932	市営住宅維持補修事業	会計	01	一般会計
基本施策	30	伊賀市らしい住まいと居住環境を創造する	款	08	土木費
担当部課名	島ヶ原支所産業建設課		項	05	住宅費
作成者氏名	増田伸一	連絡先	目	01	住宅管理費
		59-2294	細目	101	住宅維持管理経費
			細々目	02	市営住宅維持補修事業

事業の計画・内容

設置目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	市営住宅入居者	市営住宅を適正に維持し入居者の使用に供する。
本年度事業内容	市営住宅の修繕が必要な箇所の対応	
運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託等 (委託先: )	根拠法令・要綱等 伊賀市営住宅管理条例
市内の類似施設		

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員	正規職員 (人)	0.2	0.2	0.2
	人件費合計(A)	1,440	1,440	1,440
②支出内訳(千円)	事業費(B)	21	150	150
	委託料	0	0	0
	修繕料	21	150	150
	その他			
合計(A+B)		1,461	1,590	1,590
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金			
	受益者負担			
その他特財				
一般財源		1,461	1,590	1,590
上記①～③に関する特記事項				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
修繕箇所	箇所	4	0	0			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
要修繕箇所対応割合	修繕が必要な箇所を分母とし、修繕実施箇所を分子とし修繕の対応割合を指標とした。	%	100 目標 ( )	100	100
			目標 ( )		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

新築後10年のため大規模な修繕は発生していないが、適切な維持管理を行っていく。

評価	必要性	4	適切な維持管理をしていくこと、苦情等があれば即対応することで評価できる。	総合評価
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		
				A